

# なご はら [夏越しの祓え]のご案内

## 日時 6月26日(日) 午後7時30分

### なご おおはらいしんじ 夏越しの大祓神事とは

994年疫病が流行した時、牛頭天王(素戔嗚尊)が当神社で祈願され収まったと伝わり災除けの神様として崇められています。この神事は、崇敬者の皆様が、日常生活において知らないうちについている罪・穢(身内にご不幸があった場合はけがれとなります)ので、お祓いして頂く事をおすすめします)を祓い、本来の清い心身に戻るように、後の半年(七月から十二月)を健康で豊かに暮らせるようにお祈りする伝統行事で、当神社では境内に提灯奉納者の献灯をしています。



### ち わ 茅の輪くぐりとは

神話のスサノオノミコトの教えに「疫病あらば茅の輪を身につけなさい」とありそれを守った人々が難を逃れたことに由来すると言われ、ある詞(ことば)を唱えながら、八の字に三度くぐり抜け、心身を清めて厄祓いや無病息災を祈る大祓神事の行事の一つです。また茅の輪は、「災除け」のご利益があるとされています。



茅の輪は、七月中旬頃まで設置 設置期間中は、ご自由にくぐって頂けます。

### みがわ ひとがた 身代りの人形とは

人形お祓いの申し込みは6月25日まで

人の形をした身代人形に名前・数え年を記入し、その人形で身体をさすり、ご自身の穢れ(不調な所・病など)を移して深い息を三度吹きかけお祓いする物です。お祓いして焼納いたします。

お祓いご希望の方は、直接神社にお越し下さい。身代人形申込書をお渡し致しますのでご記入のうえお初穂料(1,000円以上のお心持ち)を添えて神社直接にお持ち頂くか、同封の郵便振込でお納め頂きます。人形をお納め頂いた方には、神社上製茅の輪守をお送りいたします。人形不足又は犬形・猫形の必要な場合は、神社に取りに来て下さい。



期間限定  
神社上製  
茅の輪守

① 人形に名前・数え年を記入します。



② 人形で身体の不調な所をさすり、病を移す。



③ 深い息を三度吹きかける

